

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2018年度

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	鈴木 友子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならないしない」をスローガンに、誰もが安心して暮らせる地域を作る協同組合です。みんなの家下條は、一人ひとりと手と心をつなぎ想いを大切にする介護を目指しています。それぞれのできることやりたいことを中心に、その人らしい生活を送る為の支援を行います。
事業所名	みんなの家下條	管理者	井澤 佐貴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	5人	1人	人	3人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の到達点と引き続きの改善点を明確にし、より具体的な対策を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の業務の中で計画ばかりを意識することは難しいと思う。ただ、定期的に戻ることをしていただきたい。積みかさねが大切。 常に目的意識をもつことが大切。逆にそのことにとらわれ過ぎて萎縮しなでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価はマイナスことよりプラスのことを沢山あげて欲しい。頑張っただけ満足していいのではない。 日本人が自己評価すると謙虚であり、褒めることが少ない。素直に褒めることがあった方が皆さんのやりがいにつながると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> より具体的な目標設定と、定期的な振り返りを行う。 計画・実践・振り返り・改善が日々の業務の中で行える様に、会議やミーティングの在り方を工夫する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 外回りの環境整備（清掃や花植え）を進め、開放感を演出する。 玄関先が幹線道路になるため、安全への注意喚起を行う 	<ul style="list-style-type: none"> いつも清潔に保たれており、清掃が行き届いている。 幹線道路のため塀が立ててあると思うが、閉鎖的にもうつつてします。少し残念。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な空間になっているので居心地がよさそう。 機能的な空間で安心できる。 図書館（分館）の取り組み等、地域の人に立ち寄ってもらうための工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行ってみたい、通ってみたいと思える様な外観づくり。（花植え、掲示板の活用等） 施設らしくない、家庭的な雰囲気づくりを心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の幼稚園、小中学校との連携を行う。 事業所に招き入れる行事の企画を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所との交流会や中学生の職場体験など連携が進んでいる様子である。 事業所内にはいつか初めて良さが分かる。もっと招き入れる工夫をした方がいい。会議スペースの貸し出しとか、学習会をするとか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事にいつも参加されており、名前はよく知られてきた。しかし、何をするといいかわからない人も多。もっと宣伝する必要があると思う。 地域ボランティアと連携すると地域との関係性が広がるのではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事の参加は職員中心ではなく、利用者さんも関わられる様な仕掛けを工夫していきたい。 小さな図書館（常設）や学習会（行事）を開催することで、立ち寄っていただくきっかけづくりを行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしを支える地域資源についての調査を行う。 かがやき参加者への個別フォローを実施する、 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さん以外の方との関わりを作るのは大変だと思う。無理のない範囲で取り組んでほしい。 個人情報についても躊躇するケースもあると思う。民生委員や行政と協力することが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さな村なので地域も限られていると思う、よく協力されている。 利用者さんはここに来ることを楽しみにされている。ここに通うことも立派な外出です。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さんが村の住人であることを再認識できるように、外出レクや行事参加を企画します。 二次予防事業やサロン活動参加者へ個別訪問を実施し、困りごとの把握とお役立ちを目指します。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 意見を出しやすい会議運営に改善していく。 地区外の民生委員の参加も要請する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者は固定されている。もっと色々な立場の人に参加してもらえるといいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 立場上（民生委員・行政職員）個別の人の話をし難いことが多々ある。会議の場であっても一定の配慮は必要。 民生委員の会議に参加するとういと思う。村の担当を通じてお話しておきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 村内全域の民生委員さんとの連携が図れる様に、運営推進会議や家族会の工夫を行います。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に備え、地域への協力依頼を働きかける。 火災訓練とは別に防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練をしている様子は伺えるが、具体的な計画や手順、マニュアルは知る機会が無い。 夜間時の避難訓練をしっかりとやってほしい。少ない人数の職員では危険ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 村のハザードマップを活用するとうい。 年に1回は村の防災学習会があるので参加してほしい。 災害時の避難場所（高齢者）として検討してほしい。 幸いにも目の前に派出所やお店があるので、日ごろから関係づくりが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所近隣の方への協力要請を再度実施する。 より具体的な事例を想定しての避難訓練を実施する。 事業所内の環境整備を再度徹底する。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	8		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・こんなに細かく考えながら業務に取り組んでいることに驚いた。
- ・一生懸命な姿が感じられて頭が下がる思いです。
- ・多くの職員が連携しながら取り組んでいることが見受けられた。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・毎日の業務の中で計画ばかりを意識することは難しいと思う。ただ、定期的にふり返ることをしていただきたい。
- ・少しずつでも改善していければ良いのではないかと。積みかさねが大切だと思う。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・具体的に表現してあるので目標は分かりやすいが、実際に深く関わらないと評価ができない項目もある。
- ・常に目的意識をもつことが大切。逆にそのことにとられ過ぎて萎縮しなでほしい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・現場の皆さんは、評価して総括をまとめるだけでもたいへんだと思う。
- ・評価はマイナスことより、プラスのことを沢山あげて欲しい。頑張っただけ満足してもいいのではないかと。
- ・日本人が自己評価すると謙虚であり、褒めることが少ない。素直に褒めることがあった方が皆さんのやりがいにつながると思う。

【改善計画】※後日記入

- ・より具体的な目標設定と、定期的な振りかえりを行う。
- ・計画・実践・振り返り・改善が日々の業務の中で行える様に、会議やミーティングの在り方を工夫する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		5
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつも清潔に保たれており、清掃が行き届いていることが分かる。
- ・図書館（分館）の取り組み等、地域の人に立ち寄ってもらうための工夫がされている。
- ・いつも花が綺麗に手入れされており、つい見てしまいます。
- ・幹線道路のため塀が立ててあると思うが、閉鎖的にもうつつてします。少し残念。

【前回の改善計画】

- ・外回りの環境整備（清掃や花植え）を進め、開放感を演出する・
- ・玄関先が幹線道路になるため、安全への注意喚起を行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・常に努力されていることが感じられる。本当に大変だと思う。
- ・家庭的な空間になっているので居心地がよさそう。
- ・機能的な空間になっているので安心できる。
- ・実際は用事がないと立ち寄る所では無いかな？それでも大切な場所である。
- ・事業所と駐車場の間に横断歩道があるといい。行政に要望を出してみるといい。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・行ってみたい、通ってみたいと思える様な外観づくり。（花植え、掲示板の活用等）
- ・地域の人が立ち寄るきっかけを作る。（相談会、小さな図書館、行事企画等）
- ・施設らしくない、家庭的な雰囲気づくりを心がける。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	2	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・きちんと挨拶をされているので好感が持てる。
- ・地域の行事にいつも参加されており、名前はよく知られてきた。しかし、何をするとところか知らない人も多い。もっと宣伝する必要があると思う。

【前回の改善計画】

- ・地域の幼稚園、小中学校との連携を行う。
- ・事業所に招き入れる行事の企画を行う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・保育所との交流会や中学生の職場体験など連携が進んでいる様子である。
- ・地域のボランティアと連携すると地域との関係性が広がるのではないか。
- ・事業所内にはじめて良さが分かる。もっと招き入れる工夫をした方がいい。会議スペースの貸し出しとか、学習会をすとか。

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き地域の行事には参加するが、職員中心では無く、利用者さんも関われる様な仕掛けを工夫していきたい。
- ・小さな図書館（常設）や学習会（行事）を開催することで、立ち寄っていただくきっかけづくりを行う。
- ・介護相談会（よろず相談）の開催を検討する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	2	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	2	5
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		7

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・利用者個々の関りはつかみ難いので評価が難しい。報告から推測するしか無い。
- ・桜や蕎麦の花の見学にはよく出かけられているようである。もっと外出の機会を増やしてあげてください。
- ・利用者さん以外の方との関りを作るのは大変だと思う。無理のない範囲で取り組んでほしい。

【前回の改善計画】

- ・暮らしを支える地域資源についての調査を行う。
- ・かがやきくらぶ参加者への個別フォローを実施する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・小さな村なので地域も限られていると思うが、よく協力されていると思う。
- ・個人情報のこともあり躊躇するケースもあるのではないかと。民生委員や行政と協力することが大切だと思う。
- ・知人の利用者さんは、ここに来ることを楽しみにされている。ここに通うことも立派な外出です。

【改善計画】※後日記入

- ・利用者さんが村の住人であることを再認識できる様に、外出レクや行事参加を企画します。
- ・二次予防事業やサロン活動参加者へ個別訪問を実施することで、困りごとの把握とお役立ちを目指します。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	3	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・映像（写真）や資料を提示しながら説明してくれるのでとても分かりやすい。
- ・参加者は固定されている。もっと色々な立場の人に参加してもらえるといいですね。
- ・立場上（民生委員・行政職員）個別の人の話をし難いことが多々ある。運営推進会議の場であっても一定の配慮は必要だと思う。

【前回の改善計画】

- ・意見を出しやすい会議運営に改善していく。
- ・地区外の民生委員の参加も検討する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・事業所のある区の民生委員だけ参加しているが、村内全域の民生委員に参加していただくともっと意見をもらえと思う。ぜひ具体化するべき。
- ・民生委員の会議に参加すると思う。村の担当を通じてお話しておきます。
- ・いつも意見が出しやすい雰囲気をつくってもらっている。ただ、たいへんな仕事だと理解しているので、注文ばかりは出しにくい。感謝している。
- ・もっと連携できることもあるかも。それぞれの立場の人の強みを生かし合いたい。

【改善計画】※後日記入

- ・村内全域の民生委員さんとの連携が図れる様に、運営推進会議や家族会の工夫を行います。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	4	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	5	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		8	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・訓練をしている様子は何えるが、具体的な計画や手順、マニュアルは知る機会が無い。
- ・村のハザードマップを活用するといいい。
- ・年に1回は村の防災学習会があるので参加してほしい。
- ・災害時の避難場所（高齢者）として村との連携を検討してほしい。

【前回の改善計画】

- ・災害発生時に備え、地域への協力依頼を働きかける。
- ・火災訓練とは別に防災訓練を実施する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・幸いにも目の前に派出所やお店があるので、日ごろから関係づくりをしておくことが大切ではないか。
- ・夜間時の避難訓練をしっかりとってほしい。少ない人数の職員では危険ではないか。
- ・スプリンクラーがあると知り安心した。
- ・裏口は傾斜があるが大丈夫か？いざと言うときは役に立たないのではないか。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所近隣の方への協力要請を再度実施する。
- ・より具体的な事例を想定しての避難訓練を実施する。
- ・事業所内の環境整備を再度徹底する。